

平成 25 年度の決算報告

平成25年度の決算がまとまり、9月の第3回市議会定例会で認定されました。
 皆さんが納めた税金や国や県からの補助金が、昨年度は、どれくらいの収入があり、どのよう
 に使われたのか。一般会計の決算概要と財政状況などをお知らせします。

■歳入歳出の決算額

区分	歳入	増減率	歳出	増減率	
一般会計	459億6,670万373円	△6.5%	436億3,778万8,440円	△5.6%	
特別会計	国民健康保険	186億2,381万3,377円	0.7%	179億4,620万7,244円	3.5%
	狭山市駅東口土地区画整理事業	8億2,904万17円	68.5%	6億7,345万373円	58.8%
	介護保険	82億891万3,437円	4.6%	79億4,453万96円	5.5%
	後期高齢者医療	15億1,241万1,923円	3.2%	14億9,237万2,129円	3.5%
	合計	751億4,087万9,127円	△3.0%	716億9,434万8,282円	△1.8%



都市計画道路「狭山市駅加佐志線」



新しくなった市役所総合窓口

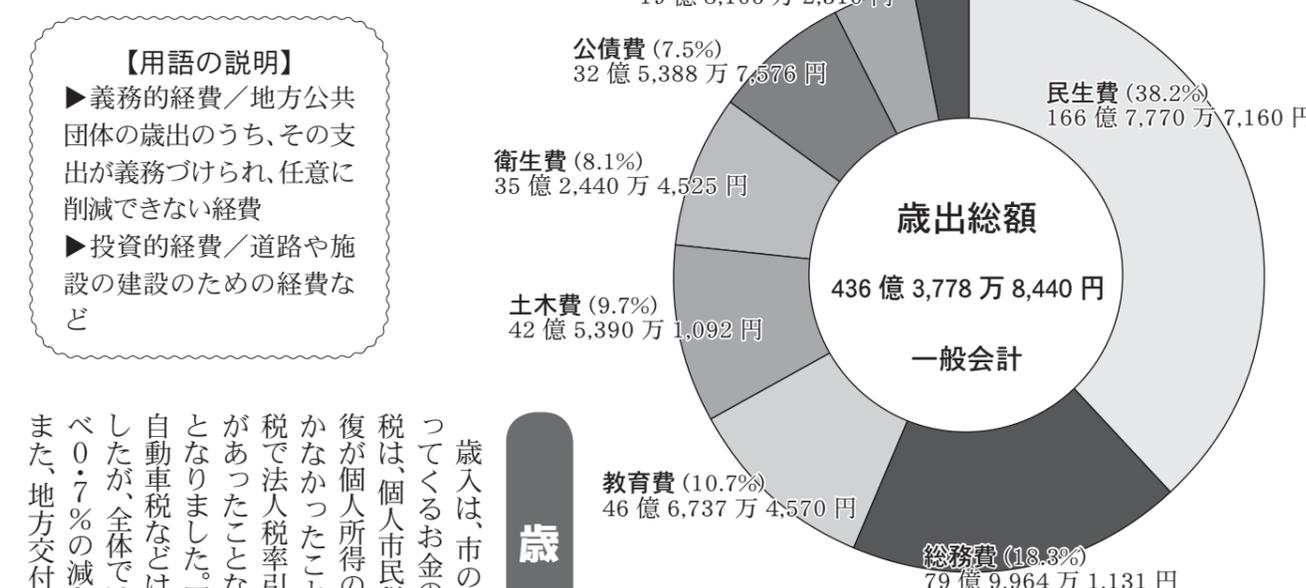
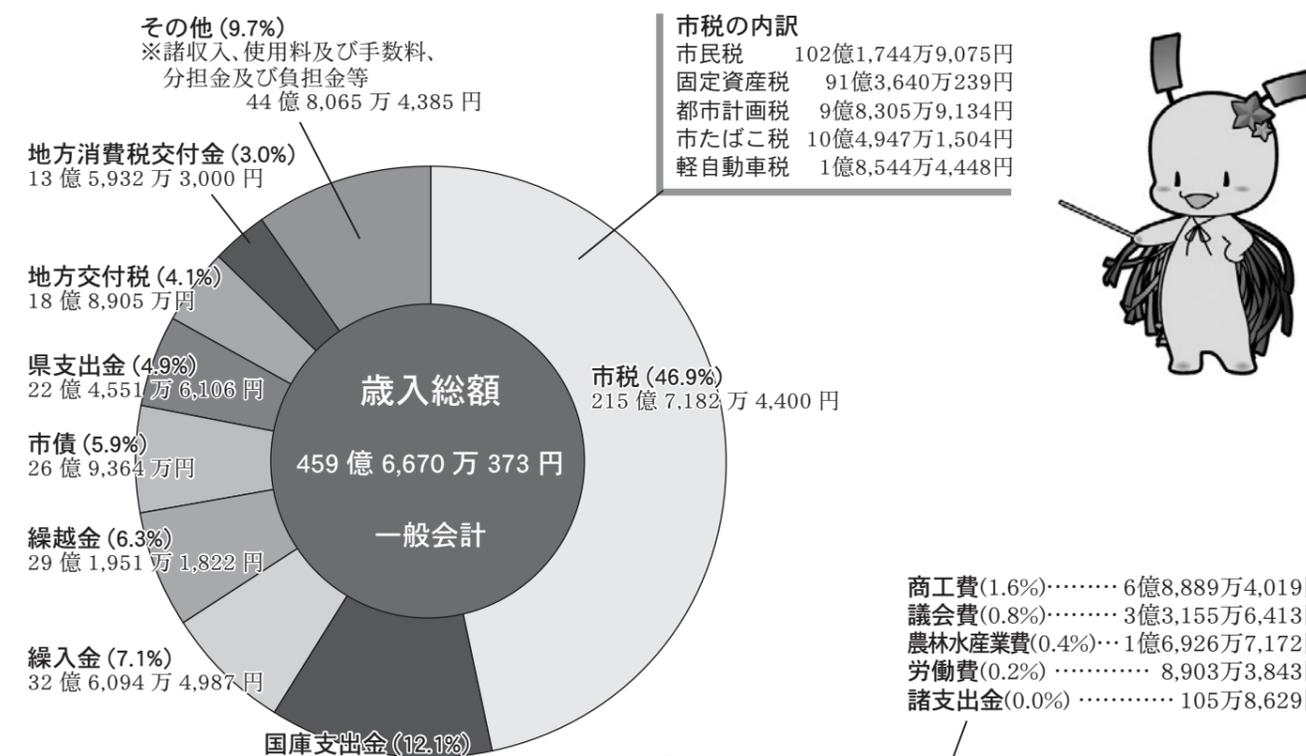
■重点事業の主な決算

※万円未満切り捨て

- (環境共生)**
 稲荷山環境センター設備改修事業……………1億2,233万円
 住宅用太陽光発電システム設置補助事業……………1,000万円
- (健康福祉)**
 障害者自立支援・障害児通所等給付事業……………14億4,783万円
 予防接種事業……………3億1,225万円
- (都市基盤)**
 狭山市駅上諏訪線整備事業……………3億4,518万円
 一般市道整備事業……………1億557万円
- (産業経済)**
 商業支援事業……………1,031万円
 農業振興事業……………1,730万円
- (教育文化)**
 小中学校校舎空調設備改修事業……………4億1,770万円
 小中学校校舎等耐震補強事業……………4億1,075万円
- (市民生活)**
 既存市営住宅改修等事業……………6,177万円
 非常備消防機械施設等整備事業……………1,799万円
- (計画推進)**
 狭山元気大学事業……………1,096万円
 総合窓口対応システム構築事業……………2億3,003万円

■歳出の性質別内訳

項目	金額	増減率
義務的経費	人件費	76億4,246万3千円 △18.9%
	扶助費	97億8,146万7千円 1.9%
	公債費	32億5,582万5千円 △3.7%
投資的経費	普通建設事業費	33億3,394万2千円 △51.5%
	災害復旧事業費	800万円 △94.5%
その他の経費	物件費	74億5,522万4千円 1.6%
	維持補修費	1億5,331万8千円 △8.2%
	補助費等	43億2,507万3千円 68.6%
	積立金	27億4,624万8千円 29.4%
	投資及び出資金貸付金	3億9,466万2千円 △1.2%
	繰出金	45億4,156万6千円 7.4%
合計	436億3,778万8千円 △5.6%	



【用語の説明】
 ▶義務的経費／地方公共団体の歳出のうち、その支出が義務づけられ、任意に削減できない経費
 ▶投資的経費／道路や施設の建設のための経費など

歳入

歳入は、市の財源として入ってくるお金のことです。市税は、個人市民税で、景気の回復が個人所得の伸びに結びつかなかつたことや、法人市民税で法人税率引き下げの影響があつたことなどにより減額となりました。固定資産税、軽自動車税などは増額となりましたが、全体では、前年度に比べ0.7%の減となりました。また、地方交付税が減額とな

歳出

つたこと、国庫補助金と市債が狭山市駅西口周辺地区整備事業の終了に伴って減額となつたことなどにより、歳入の決算総額は前年度に比べ6.5%の減となりました。
 ◎歳入総額を市民一人当たりで換算すると29万7千240円、一世帯当たりでは69万7千977円です。

歳出は、市民の皆さんのために使われるお金で、民生費が最も多く、次いで総務費、教育費、土木費、衛生費などの順になつていきます。総額は、前年度に比べて5.6%の減となりました。
 ◎歳出を性質別に見てみると、狭山市駅西口周辺地区整備事業の完了や埼玉西部消防組合の発足による支出科目の人員費から負担金への変更、総合窓口システムの構築などにより前年度に比べて、義務的経費が7.7%の減、投資的経費が52.4%の減、その他の経費が16.6%の増となりました。
 ◎歳出総額を市民一人当たりで換算すると28万2千180円、一世帯当たりでは66万2千614円です。